

令和3年度学校評価実施計画

学校名	大分県立日田三隈高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>授業改善について 【成果】生徒アンケートの上昇が見られ、授業改善スクールプランの総合(年間)評価は「A」であった。【課題】授業改善スクールプランで全教科「A」以上、総合評価で「S」をめざす。</p> <p>学習習慣について 【課題】学習習慣の定着は、達成指標に届いていない。家庭学習が主体的に取り組めるよう、iPad(クラウド)を活用した学習環境の構築を急ぐ。</p> <p>校内環境について 【成果】感染防止対策や本校独自のガイドラインを作成した結果、検温や手指消毒などの定着が進んだ。</p> <p>情宣活動について 【成果】体験入学や在校生による「出前説明会」を実施できた。【課題】定員の確保には至らなかったが、中学生に本校の魅力を発信できるように教育活動を更に充実していく。</p>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
『Mikuma PAS System』を根幹とした実践的な教育活動を通し、「これからの社会を生き抜く力」を有する生徒の育成	総合学科での学び(「4つの力」の習得)と進路達成の連動、人権尊重の行動を意識した生徒を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業改善を通じた、生徒の学習意欲の向上と進路実現の強化 2 安全・安心な学校環境の整備と人権尊重の意識・規範意識の育成 3 学校行事・公開発表会の取り組みと総合学科の魅力や情報提供の充実 4 教職員の働き方改革の向上と業務改善につながる協働体制の確立

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
授業改善を通じた、生徒の学習意欲の向上と進路実現の強化	○授業改善の充実 授業アンケート「学習活動を通して、自分の考えが深まったり、判断する力がついたと思う時がありますか」という項目で肯定的な回答をする生徒が80%以上	授業改善につながる「思考力・判断力・表現力」の評価方法の紹介・共有・研究	教科横断型の職員研修を2回(6月「考査問題の検討について」、11月「思考力・判断力・表現力の評価について」)実施する。	PL:指導教諭 SL:教務主任 教科主任
	○学習意欲の向上 家庭学習を自主的・主体的・計画的に取り組んでいる生徒の割合を60%以上	生徒が記録した『Life Design(手帳)』を職員間で確認・共有し、学習意欲につながる面談の強化	ホームルーム担任を中心に3回(4, 9, 11月)の面接と定期考査時の学習時間調査を実施する。	PL:教務主任 SL:学年主任
	○進路実現の強化 学校による就職紹介および上級学校への合格100%	・総合学科部と連携・協働し、学年に応じた進路意識の形成や個の目標を支援する進路指導の強化 ・基礎力診断テストで各教科前年度より向上	・外部講師招聘等の進路ガイダンスを各学年2回以上に加え、3年は校内ガイダンス7回と社会への旅立ちセミナーを実施する。 ・基礎力診断テスト分析会を各学期に実施し、強化対象の生徒情報を共有する。	PL:進路指導主任 SL:学年主任 教科主任
安全・安心な学校環境の整備と人権尊重の意識・規範意識の育成	○学校環境の整備 学校生活アンケート「感染症予防対策を意識した行動ができた」と回答する生徒が90%以上	保健委員会を中心とした生徒の主体的な感染症予防対策の取り組み強化	保健Weekの設定(学期に1回)、校内放送(昼食時)、ポスター制作等による注意喚起(学期に1回)を実施する。	PL:保健・教育相談主任 SL:学年主任
	○交通安全指導の充実 自転車通学生のヘルメット着用率100%	生徒の交通ルール定着・意識高揚のため、ヘルメット着用の促進強化	・生徒会及び保護者と協働した登校指導(正門、駐輪場でヘルメット着用指導)を学期に1回実施する。 ・ヘルメット購入確認を4月、自転車保険加入確認を6月までに実施する。	PL:生徒指導主任 SL:学年主任
	○人権・部落差別解消教育の推進 3年生部落差別に関する調査において、「学んだ」「差別は許せない・差別のおかしさに気づいた」と回答する生徒が100%	生徒が主体的に考え活動する人権HRAの構築のため、授業の企画から事後反省会までを生徒(特に人権・福祉委員)と共有・協働	人権・部落差別解消教育の研修に全職員の参加と、担任団(正・副・副々)が人権HRAの主旨指導を1回行う。	PL:人権・部落差別 解消教育係 SL:生徒指導主任 学年主任
学校行事・公開発表会の取り組みと総合学科の魅力や情報提供の充実	○Mikuma PAS Systemの工夫改善 公開発表会を含めた各活動に対する生徒の満足度80%以上および振り返りシートにおける自己評価がB以上の生徒が95%	各授業(産業社会と人間、総合的な探究の時間)において、各自で目標を記入し、振り返りができるシートの工夫・改善	振り返りシートを見返し、取り組みの自己評価を活動毎に実施する。	PL:総合学科主任 SL:学年主任 教科主任
	○部活動の充実 部活動加入率70%以上	1・2年生に部活動加入の促進と学校内外に活動状況(大会結果等)の広報の充実	新学期に3日間の体験入部の実施と2ヶ月に1回の割合で生徒会広報(部活動実績)を発行する。	PL:特別活動主任 SL:学年主任
	○広報活動の充実 学校HPの更新回数100回以上、学校通信の発行10号以上	学校行事・公開発表会の取り組みや校外活動における記録の充実・強化	学校行事や校外活動の実施ごとに、学校HP更新は月10回程度、学校通信の発行は月1回を目安に実施する。	PL:管理職 SL:主幹教諭 各分掌主任
教職員の働き方改革の向上と業務改善につながる協働体制の確立	○超過勤務の削減 超過勤務時間の平均が前年度平均(31時間25分)以下	朝礼シート内の「マイ定時退庁日」の活用を促進	毎月初めにタイムレコーダーによる超勤状況を把握し、月45時間以上の職員に対し労務管理の助言・指導を行う。	PL:管理職 SL:各分掌主任 事務室
	○休暇の取得増進 職員の年休取得平均日数を15日以上	目標管理シートに休暇取得目標日数の明示と、「相互扶助(お互い様)シート(自習監督登録BANK)」及び「〇曜日は副(々)担任デー」の実施	長期休暇前(7・11月)に休暇取得状況調査と取得計画を作成・実施する。	PL:管理職 SL:各分掌主任 事務室